

第1学年 国語科学習指導案

令和元年10月8日、9日、10日、11日

指導者 山本なるみ

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿(3) 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

小学校学習指導要領解説(国語編)

・知識及び技能(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 エ

第1学年においては、別表の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。(省略)

・思考力、判断力、表現力等 B書くこと ウ

語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

1 単元名

「かんじのはなし」

2 単元について

(1) 児童の実態と教科の内容

児童は、幼児期から読み聞かせや身の回りのものなどから文字への興味・関心をもっている。「これ読めるよ。」「ぼくはこんな字を書けるよ。」と得意気に話している幼児の様子から、文字を知ることへの喜びが感じられる。

児童の出身保育所では、文字に対する興味や関心を深めるために、5歳児でかるた作りをして遊んでおり、「あ」から始まる言葉を探したり、その言葉が出てくる短いお話を考えたりしている。子どもたちは、相談し合ったり、友達の真似をしたり、時には保育士に支援してもらったりしながらかるたを完成させる。作ったかるたは、最後に「お披露目会」として全て掲示し、年下の友達に読み方を教えてあげたり、友達の作品の良さを感じたりしながら、達成感や充実感を味わっている。このような姿が、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の「協同性」で挙げられている姿だと捉えた。また、真似して文字を読み書きしたり、お話をイメージして絵を描いたりする姿は、上記で示している国語の内容とも関連がある。「協同性」の姿を發揮しながらかるたを楽しんでいた姿を本単元でも生かすことで、漢字を書きたいから調べる、調べた漢字で楽しく遊びたいから友達と相談したり工夫したりする、友達と関わるから自分や友達の頑張りに気付ける、という友達同士の学び合いや認め合いのできる児童の姿を目指していく。

本単元は初めての漢字学習となるが、児童はすでに絵本の中に振り仮名付きで出ている漢字を読んだり、日常生活の様々な場面で漢字交じりの表記を目にしたりしている。中には自分の名前を漢字で書いている児童もおり、「漢字が読めるようになりたい」「書けるようになりたい」と漢字の学習を心待ちにしている様子も見られる。漢字に興味をもっている姿を本単元でも生かすことで、「調べたい」「書けるようになりたい」という主体性ととも、漢字の成り立ちに着目する

など漢字への興味をさらに広げ、深められるようにしていく。

本単元のねらいは、漢字の成り立ちに興味をもち、漢字の読み方や書き方を知って、正しく使うことができることである。導入では、漢字を書いた札と絵を描いた札を数セット用意しておき、児童に提示する。すると「木の絵カードは、漢字の木のカードとペアになる」などと自分たちで組み合わせて遊び始めるであろう。何度も挑戦して、漢字の成り立ちなどに気付いていくうちに、「他の漢字はどうか」「自分も作ってみたい」という疑問や興味が生まれるようにしたい。オリジナル漢字カードを作る活動は、自分なりのカードゲームを作れるという点において幼児期のかかる作りより柔軟性があり、レベルの上がる活動である。自ら考え工夫することができるよう、試行錯誤しながら友達と関わって活動できる学習環境を設定する。まず物的環境として、漢字の絵本、漢字表、辞書などの漢字の手本となるものやカードゲームを連想させやすくするトランプやかるたなどのカード、カードの材料として様々な大きさの画用紙、マジック、そして自分の作ったものをすぐに準備したり片付けたりできる個人の箱を用意しておく。第4時までは、自分で漢字を調べ、真似して書くことのできる幼児期の姿が生かし、意欲的に活動できるようにしていく。そして意欲的に活動してきた中で得た気づきを基に、第5時で正しい漢字の書き方を確認できるようにしていく。空間的環境としては、座卓を用意したり、友達の作ったカードゲームで遊ぶ時間を設定したりすることで、友達との関わりをもてるようにしていく。人的環境としての教師は、児童の漢字を調べて丁寧に書いている姿や、自分なりのルールを工夫しようとしている姿を見取り、全体に広げることで、考え、工夫する姿を生むきっかけをつくることができると考える。このような学習環境の中で、作ったり遊んだりを繰り返すことで、漢字について新たな発見をしたり、漢字を読み書きできるようになった自他の成長などに気付いたりしていくだろう。本単元での漢字への興味や、学び合う姿が、これからの漢字学習へもつながっていくようにしていく。

(2) 本単元で生かされる幼児期の「協同性」の姿

項目	具体的な姿
①多様な感情体験を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに勝ったり負けたりする楽しさや悔しさを味わっている。 ・みんなで遊ぶと楽しいことや、友達の良さを感じている。 ・漢字を書けるようになった充実感を味わっている。
②互いの思いや考えを共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている漢字のことを話したり、漢字の成り立ちで気付いたことを伝え合ったりしている。 ・自分の頑張りやできるようになったこと、友達の良いところを話し合っている。
③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に経験したことのあるカードゲームを想起し、友達と話し合っていることを考えている。 ・調べたり相談したりしながらカードゲームを完成させようとしている。 ・友達のカードを見たり教師の話の聞いたりしながら丁寧に工夫してカードを作ろうとしている。 ・友達のカードで遊び、アドバイスをし合ったり、ルールの確認をしたりしている。 ・カードゲームをもっと楽しむために、他の人を誘おうとしている。 ・カードゲーム大会らしくなるよう、友達と相談しながら黒板を飾ったり、文字を書いたりしている。 ・カードゲーム大会を一緒にしたい人を呼んできている。 ・その場にいる人数や人に応じて遊び方を変えたり話し合ったりしている。 ・これまでの学習を思い出しながら、成り立ちを意識して書こうとしている。

3 単元目標

- ・漢字の成り立ちに興味をもち、漢字の読み方や書き方を知って、正しく使うことができる。

4 単元の評価規準

【関】◎進んでカードゲームを作ったり遊んだりして、漢字の成り立ちに興味をもっている。

(主体的に学習に取り組む態度)

【言】調べたり相談したりしながら漢字の読み方と書き方を知り、正しく書いている。

(知識・技能)

【書】漢字の意味を理解して、語と語のつながりのある文を書いている。

(思考力・判断力・表現力)

5 単元の指導計画 (全5時間)

学習内容 児童の思考の流れ	本時で生かされる 幼児期の「協同性」の姿	評価
<p>1時間目 かんじカードゲームをしよう。</p> <p>漢字、知ってるよ。</p> <p>山って山の形に似ているね。</p> <p>漢字って、形からできたんだね。</p> <p>もう一回やろう。</p> <p>ぼくたちも作ってみたいな。</p>	<p>①多様な感情体験を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに勝ったり負けたりする楽しさや悔しさを味わっている。 <p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている漢字のことを話したり、漢字の成り立ちで気付いたことを伝え合ったりしている。 <p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に経験したことがあるカードゲームを想起し、友達と話し合っていることを考えている。 	<p>【関】進んで漢字カードゲームで遊び、漢字の成り立ちに興味をもっている。</p> <p>【言】「山」「木」「川」「口」「目」が形からできた漢字であること、「上」「下」が印からできた漢字であることを理解している。</p>
<p>2・3時間目 オリジナルかんじカードゲームをつくらう。</p> <p>〇って漢字はこの本に載っているよ。</p> <p>一緒に見よう。</p> <p>〇〇君のこの字、ちょっと分かりづらいな。</p> <p>こういうふうに直すといいね。</p> <p>もっとたくさんの人とゲームをしたいな。</p>	<p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、自分の頑張ったことを伝えたり、友達の頑張りを認めたりしている。 <p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり相談したりしながらカードを完成させようとしている。 ・友達のカードを見たり教師の話の聞いたりしながら丁寧に工夫してカードを作ろうとしている。 ・友達のカードで遊び、アドバイスをし合ったり、ルールの確認をしたりしている。 ・カードゲームをもっと楽しむために、他の人を誘おうとしている。 	<p>【言】調べたり相談したりしながら漢字の読み方と書き方を知り、成り立ちを想像しながら書いている。</p>
<p>4時間目 かんじカードゲームたいかいでたのしくあそぼう。</p> <p>〇〇ちゃん、上手に漢字を書いているね。</p> <p>みんなとゲームをして楽しかったよ。</p> <p>〇っていう漢字の成り立ちに驚いたよ。</p> <p>これからも、もっといろんな漢字を勉強したいな。</p>	<p>①多様な感情体験を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぶと楽しいことや、友達の良さを感じている。 ・漢字を書けるようになった充実感を味わっている。 <p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の頑張りやできるようになったこと、友達の良いところを話し合っている。 <p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲーム大会らしくなるよう、友達と相談しながら黒板を飾ったり、文字を書いたりしている。 ・カードゲーム大会を一緒にしたい人を呼んできている。 ・その場にいる人数や人に応じて遊び方を変えたり話し合ったりしている。 	<p>【関】ゲームを楽しみ、自分の頑張りや友達の良さを振り返ることで、これからの漢字学習に意欲的に取り組もうとしている。</p>
<p>5時間目 なりたちやかきじゅんにきをつけて、かんじをかこう。</p> <p>山は真ん中の縦棒が長いよ。</p> <p>書き順も気を付けないとね。</p> <p>正しく漢字や文を書けるようになったよ。</p>	<p>①多様な感情体験を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく書けるようになった充実感を味わっている。 <p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元を振り返り、頑張りやできるようになったこと、友達の良いところを話し合っている。 <p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を思い出しながら、成り立ちを意識して書こうとしている。 	<p>【言】字形や書き順に気を付けて、正しく漢字を書いている。</p> <p>【書】漢字の意味を理解して、語と語のつながりのある文を書いている。</p>

6 本時の指導

第1時

- (1) 本時の目標 話し合いや漢字カードゲームを通して、漢字の成り立ちに興味をもつ。
- (2) 評価規準 **【関】** 進んで漢字カードゲームで遊び、漢字の成り立ちに興味をもっている。
【言】 「山」「木」「川」「口」「目」が形からできた漢字であること、「上」「下」が印からできた漢字であることを理解している。

(3) 学習展開

学習内容 ・期待される児童の姿	協同性の姿	○手立て	評価
<p>1 先生の名前の話を聞いて、気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の名前は、○○先生だね。 ・漢字だけど、読めるよ。 ・僕の名前の中にも漢字があるよ。 ・他の漢字も書けるよ。えっと…。 ・山という漢字は、山みたいな形をしているね。 ・山の他のカードも読めるよ。 <p>2 「山」以外の絵カードと漢字カードを見て、どんなことができそうか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは「木」の絵だから、木の形をしている漢字を合わせたらいいね。 ・絵と漢字を合わせるゲームができそう。 ・裏返して神経衰弱みたいにできるかも。 	<p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている漢字のことを話したり、漢字の成り立ちで気付いたことを伝え合ったりしている。 <p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に経験したことのあるカードゲームを想起し、友達と話し合っていることを考えている。 	<p>○教師の名字を読んだり、知っている漢字の話をしたりしながら、漢字に対する興味・関心をもたせる。</p> <p>○知っている漢字があればホワイトボードに書かせ、掲示しておくことで、カードゲームを作る際の動機づけとする。</p> <p>○漢字が形からできたものだと予想させたり、他の漢字の成り立ちへも興味をもたせたりするために、山の絵カードと「山」の漢字カードを提示し、比較して見せる。</p> <p>○「山」以外の絵カードと漢字カードをばらばらにして児童に見せることで、どんなことができそうか、自分たちで考えて話し合えるようにする。</p>	
<p>かんじカードゲームをしよう。</p>			
<p>3 漢字カードゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵合わせゲーム、ぼくは2組取れたよ。 ・どの漢字も、形に似ているね。漢字の秘密が分かったよ。 ・カードが少ないから、すぐ終わったね。 ・もっと他のカードも作ってみたいな。 <p>4 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲームが楽しかったよ。 ・漢字と絵が似ていて、驚いたよ。 ・もっといろんな漢字を調べてみたいな。 	<p>①多様な感情体験を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに勝ったり負けたりする楽しさや悔しさを味わっている。 	<p>○形や印からできた漢字があることを理解させるために、漢字の成り立ちへの気付きを促す声がけをする。</p> <p>○他のカードを作りたいときにすぐ作れるよう、無地の画用紙や漢字の本などを用意し、環境を整えておく。</p> <p>○漢字の成り立ちへの気付きを評価し、次時からのオリジナルカードゲーム作りへの意欲付けをする。</p>	<p>【関】 進んで漢字カードゲームで遊び、漢字の成り立ちに興味をもっている。</p> <p>【言】 「山」「木」「川」「口」「目」が形からできた漢字であること、「上」「下」が印からできた漢字であることを理解している。</p>
<p>かんじがどのようにできたのか、わかってきたよ。</p> <p>ほかのかんじのなりたちも しりたいな。</p>			

第2・3時

- (1) 本時の目標 本で調べたり友達と相談したりして漢字カードを作る中で、漢字の成り立ちや読み方、書き方を知る。
- (2) 評価規準 【言】 調べたり相談したりしながら漢字の読み方と書き方を知り、成り立ちを想像しながら書いている。
- (3) 学習展開

学習内容 ・期待される児童の姿	協同性の姿	○手立て	評価
<p>1 前時の活動を振り返り、本時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲームをしたね。 ・漢字と、ものの形が似ていることが分かったよ。 ・他のカードも作ってみたいな。 		<p>○前時の活動を想起させ、本時のカード作りに意欲を持って取り組めるようにする。</p>	
<p>オリジナルかんじカードゲームをつくろう。</p>			
<p>2 オリジナル漢字カードゲームを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇って漢字はこの本に載っているよ。 ・自分の名前の漢字ゲームができそうだな。 ・難しい漢字を書けたよ。誰かに知らせたいな。 ・〇〇ちゃんのゲーム、面白そう。真似してみよう。 ・一度遊んでみたいな。 	<p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり相談したりしながらカードゲームを完成させようとしている。 ・友達のカードを見たり教師の話の聞いたりしながら丁寧に工夫してカードを作ろうとしている。 	<p>○調べたり相談したりしながら楽しく作れるような物的環境・空間的環境を整える。</p> <p>○自分でやってみようとする姿、友達とかかわってやり遂げようとする姿、どちらの姿も価値づける声かけをする。</p>	<p>【言】 調べたり相談したりしながら漢字の読み方と書き方を知り、成り立ちを想像しながら書いている。</p>
<p>3 中間ゲーム大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この漢字、難しい。〇〇くん、すごい。 ・〇〇くんのこの字、ちょっと分かりづらいな。 ・こういうふうに直すといいね。 ・やっぱりすぐにゲームが終わっちゃうな。 ・もっとカードを増やそう。 ・いろんな人とできたら楽しいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のカードで遊んでアドバイスをし合ったり、ルールの確認をしたりしている。 ・カードゲームをもっと楽しむために、他の人を誘おうとしている。 	<p>○友だちのカードの良い点や改善点を話し合えるようにする。</p> <p>○漢字をたくさん書けるようになっていたり、楽しいゲームにするために考えている姿を認め、続きの活動も意欲的に取り組めるようにする。</p>	
<p>4 カードゲームの続きを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇ちゃんが書いていた漢字を書きたいな。作ってみよう。 ・さっき教えてくれたところを直そう。 		<p>○中間ゲーム大会での気付きやアドバイスを生かして続きの活動ができるよう支援する。</p>	
<p>5 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの漢字も成り立ちがあるんだね。 ・初めて見る漢字の読み方や書き方が分かったよ。 ・難しい漢字も丁寧に書けたよ。 ・休み時間にもカードを作りたいな。 ・友だちにアドバイスしてもらって、もっといいカードができたよ。 	<p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の頑張ったことを伝えたり、友だちの頑張りを認めたりして、本時を振り返っている。 	<p>○本時の気付きを共有し、次時への期待感を持たせる。</p> <p>○カードを作っているうちに「誰かに教えたい」「誰かと遊びたい」という気持ちになった児童がいれば受け止め、全体に広げる。</p>	
<p>いろんなかんじのなりたちや よみかた・かきかたが わかってきたね。</p>			

第4時

- (1) 本時の目標 オリジナル漢字カードゲームを楽しみ、漢字を丁寧に正しく書こうとした友達や自分の頑張りを振り返ることができる。
- (2) 評価規準 **【関】** ゲームを楽しみ、自分の頑張りが友達の良いところを話合ったり、これからの漢字学習に意欲的に取り組もうとしている。
- (3) 学習展開

学習内容 ・期待される児童の姿	協同性の姿	○手立て	評価
1 本時のめあてを立てる。	③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。 ・カードゲーム大会らしくなるよう、友だちと相談しながら黒板を飾ったり、文字を書いたりしている。 ・カードゲーム大会を一緒にしたい人を呼んできている。	○本時のカードゲーム大会の雰囲気をも自分たちで作れるよう、見守る。	
かんじカードゲームたいかいで、たのしくあそぼう。			
2 オリジナル漢字カードゲームで遊ぶ。 ・まず誰のゲームで遊ぶ？ ・人が多から分かれて遊ぶ？ ・○○ちゃん、上手に漢字を書いているね。 ・○って漢字がどのようにできたのかが分かったよ。	①多様な感情体験を味わう。 ・みんなで遊ぶと楽しいことや、友達のカードの工夫の良さを感じている。 ③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。 ・その場にいる人数や人に応じて遊び方を変えたり話し合ったりしている。	○人数や、どんな人が来ているかに応じてルールを変え、伝えている児童の姿を全体に広める。 ○感想を伝えるようにさせ、友達の頑張りを意識して見つけられるようにする。	
3 本時を振り返る。 ・みんなとゲームをして楽しかった。 ・丁寧に書くと、絵の形と同じような漢字が書けるね。 ・○という漢字の成り立ちに驚いたよ。 ・もっといろんな漢字の勉強をしたいな。	②互いの思いや考えを共有する。 ・自分の頑張りができるようになったこと、友だちの良いところを話合っている。 ①多様な感情体験を味わう。 ・漢字を書けるようになった充実感を味わっている。	○達成感や充実感を味わえるよう、自他の成長を認める姿を評価する。	【関】 ゲームを楽しみ、自分の頑張りが友達の良いところを話合ったり、これからの漢字学習に意欲的に取り組もうとしている。
かんじのなりたちがわかったよ。 なりたちがわかると、かんじをたたくかけるね。			

第5時

- (1) 本時の目標 漢字の成り立ちを意識しながら正しく書くことができる。
- (2) 評価規準 **【言】** 字形や書き順に気を付けて、正しく漢字を書いている。
【書】 漢字の意味を理解して、語と語のつながりのある文を書いている。
- (3) 学習展開

学習内容 ・期待される児童の姿	協同性の姿	○手立て	評価
<p>1 前時までの振り返り、本時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなとカードゲームをしたね。 ・漢字がいっぱい書けるようになったよ。 ・漢字の成り立ちが分かったよ。 ・書き順も覚えたよ。 		<p>○前時までの活動を振り返らせ、本時のめあてを立てられるようにする。</p>	
<p>なりたちやかきじゅんにきをつけてかんじをかこう。</p>			
<p>2 「山」「木」「川」「口」「目」「上」「下」などの書き方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山」は真ん中が高いお山になっているよ。 ・「目」は中に2本線があるよ。 ・「川」は、川が流れているみたいに最初はすっとはらうよ。 <p>3 漢字を使った文作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を4つ入れてお話作りができたよ。 ・昔話みたいになったよ。 <p>4 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順に気を付けながら漢字を書けた。 ・山の形を考えながら「山」の漢字を書けた。 ・文作りで、漢字を3つ入れてお話を作れた。 	<p>③共通の目的に向けて考えを伝え合ったり、試行錯誤したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を思い出しながら、成り立ちを意識して書こうとしている。 <p>②互いの思いや考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元を振り返り、頑張りやできるようになったこと、友達の良いところを話し合っている。 <p>①多様な感情体験を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく書けるようになった充実感を味わっている。 	<p>○成り立ちや書き順を意識して書けるよう、これまでの学習でのつぶやきを広げたり、クイズ形式・間違い探し形式にしたりして楽しく書けるようにする。</p> <p>○自信をもって書けるよう、積極的に赤ペンで丸を入れる。</p> <p>○作ってみたい気持ちが高まるよう、教師が文作りの手本を示す。</p> <p>○時間があれば、作った文を読み札にしてかるた遊びをさせる。</p> <p>○達成感や充実感を味わえるよう、自他の成長を認める姿を評価する。</p>	<p>【言】 字形や書き順に気を付けて、正しく漢字を書いている。</p> <p>【書】 漢字の意味を理解して、語と語のつながりのある文を書いている。</p>
<p>なりたちやかきじゅんにきをつけると、ただしくかんじをかけたね。</p>			